

## 地域活動にご活用頂ける施設がございます

赤碕福祉会では、今現在使用していない百寿苑南側の建物を介護予防体操（わくわく体操カフェ）で活用して頂いております。ご興味のある方は総務課までお問い合わせください。



※入口に消毒液を設置し、換気をしながらご使用頂いております

### 心より感謝申し上げます

※5月～6月の寄贈・ボランティアの方を掲載しております。

#### 寄贈

桑崎様…経腸栄養剤 米原様…服、タオル  
長尾様、原田様、高力様、金平様…マスク  
琴浦町役場総務課様…マスク  
大山乳業協同組合様…牛乳、ヨーグルト  
第一生命東伯支店様…消毒液  
足立水道設備様…菓子  
小林様…花 野間田様…果物



▲第一生命東伯支店様



▲大山乳業協同組合様

#### ボランティア様

田中健二様、柔道クラブ様…畑  
足立一子様…草取り

## 百寿苑夏祭り 中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止からご利用者、ご家族、地域の皆様の健康と安全を第一に考え、本年度の百寿苑夏祭りを中止することとなりました。夏祭りを楽しみにいただいた皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

秋に予定している敬老会、文化祭等についても中止いたします。ご了承賜りますようお願い申し上げます。

### スマホ版ホームページ QRコード



ぜひご活用ください！

【編集後記】ケアマネ試験勉強会の取材をするなかで、思いがけずベテラン職員さんからお話を伺う機会がありました。長い歴史を感じながら積み上げていくことの大切さを再認識しました。

# たんぽぽ だより



赤碕福祉会 基本理念

一、報恩感謝 一、奉仕精神

第112号 令和2年7月発行

令和2年度 法人スローガン

社会福祉法人 赤碕福祉会  
介護老人福祉施設 百寿苑  
百寿苑デイサービスセンター  
百寿苑きらりデイサービスセンター  
百寿苑ヘルパーセンター  
グループホームあかさき  
グループホームきらり  
グループホームはなみ  
あかさき介護支援センター  
鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1061-3  
(0858) 55-2051

「ブランドカ」



## 令和元年度 事業報告

### 令和元年度を振り返って

平成が終わり、新元号「令和」の幕開けとなった2019年。祝賀ムードも冷めやらぬ中、今年度も数々の出来事がありました。特に10月に発生した大型台風による被害は甚大で、被害にあわれた関東地方の特別養護老人ホームでは未だ事業が再開できない状況であり、地域の実態に合った災害対策の再度の見直しが必要となっています。

また新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、人々の生活にも経済にも大きな影響を与えています。一日も早い終息を願うばかりですが、感染防止対策を徹底しご利用者の安心安全な生活の確保と安定経営に取り組んでまいります。

令和元年度の事業運営を振り返りますと、訪問介護事業につきまして年度後期より一部縮小を行いました。その他の事業は新規利用者を迎えながら順調に事業を運営することができました。

介護老人福祉施設・短期入所事業・認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）につきましては、地域の皆様のご支援をいただき常に満床状態にあり、入所待機の期間が大変長くなっております。認知症ケアとして「ユマニチュード」を取入れ「体調を整えるケア」「プライドを大切にしたいケア」「医療との連携」の三点を柱に認知症重度化予防に取り組ましました。その中でも「笑いヨガ」の活用はご利用者の笑顔を多く引きだし、職員がやりがいを感じる場面でもあります。

また、ご利用者・職員共に負担の少ない「ノーリフトケア」を数年前から取入れていますが、今年度は推進チームを立上げ、チームメンバーを中心にノーリフトケアの定着と推進を図りました。継続した取組は定着を推進し安全で安心して働ける職場づくりに繋がっています。

通所介護事業につきましては、ご利用者の在宅における日常生活の継続を目的にご利用者一人ひとりの能力に応じた機能訓練を介護・看護・理学療法士・ケアマネの専門職がチームとして関わり生活機能の維持向上に努めました。またご利用者の社会的孤立感の軽減、ご家族の在宅介護の身体的精神的負担の軽減を目的に稼働率の向上に取り組む、一日平均60名の方にご利用いただいております。

訪問介護事業につきましては、介護職員の不足とニーズの減少から後期より総合事業対象者への支援を中止させていただいておりますが、訪問介護事業は在宅高齢者の在宅生活を支える重要な社会資源であるとの考えで今後も事業の継続を行ってまいります。

少子高齢化による生産年齢人口の減少は年々深刻化しており人材の確保は困難となっています。介護人材確保の取組みとして様々な採用ツールを活用した積極的な採用活動、明るい職場・働きやすい・働きがいのある職場づくりを目指した取組みは採用・離職防止に繋がりました。職員数は前年比で8名（常勤換算）増の結果となりました。

社会福祉法人の役割である地域貢献につきましても多くの活動が行えた一年でした。地域の皆様のご賛同と協力を頂き、役職員が一丸となった取組みは多くの地域交流の機会を生むことができました。

社会福祉法人 赤碕福祉会  
理事長 井木 久博



## スタッフ紹介



### 特別養護老人ホーム 百寿苑 介護士 篠原 沙紀

産休・育休から復帰して1年になりました。4歳の娘と2歳の息子がいます。2人ともお父さんに似てやんちゃです。子育てと仕事の両立は大変と言われますが、私にとっては育休中の方が大変でした。父や母に子育てを手伝ってもらえることもあり、職場復帰後は順調な日々を送っています。

人と接する仕事をする上で大事なことは、気張り過ぎないで適度に自分をコントロールすることでしょうか。

ケアマネ資格取得にチャレンジしてみようかなという気持ちもありますが、なかなか決心が付きません。先日テキストを見せてもらいましたが、その厚さに圧倒されました。誰か私の背中を押してください…。



### グループホームはなみ 介護士 兼 計画作成担当者 遠藤 緩子



私もケアマネ試験勉強会に参加して資格を取得しました。自分だけだとやらなくなってしまうタイプなので思い返すと毎週月曜の勉強会に参加できるよう勤務調整して頂けることが有難かったです。当時は模擬試験後のポイント解説に良さを感じていました。

その後、はなみに異動してケアマネ業務をしています。介護業務もしながら9人の入居者にしっかり関われるのがグループホームの良さだと思います。声掛けを大切に、入居者が笑顔で生活できるよう心掛けています。

趣味は県外の友人とライブに行くことですが、自粛中で最後に行ったのは半年前になってしまいました…。

### グループホームあかさき 介護士 金田 彩子

ホームヘルパー出身なので最初は窮屈に感じたグループホームでしたが、いつの間にか8年目になりました。どこの事業所でも穏やかなチームワークが大切だと思います。

いつもは友人との旅行やソフトテニスでストレスを発散していますが、今はコロナの影響で自粛中です…。今は家族に囲まれながら（8人家族）のんびりと小物づくりに没頭しています。外出先で布を見るとつい欲しくなってしまう、使いきれないほど買ってしまいます。

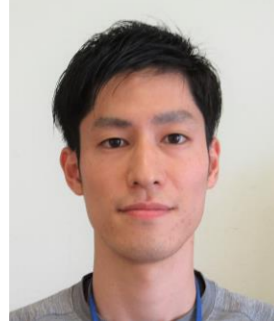
老後はこの趣味を活かした生活がしたい！と考えています。



## 町報・TCC「肩こり・腰痛予防体操」



理学療法士  
伊藤謙  
(肩こり担当)



理学療法士  
遠藤拓郎  
(腰痛担当)

8月の町報ことうらの「おうちで簡単体操」に掲載が決まりました。“寝て行える”肩こり・腰痛予防体操を紹介しています。簡単な体操になっていますので、ぜひ町報をご覧ください、寝る前などのちょっとした時間を利用して継続的にやってみてください。

またTCCでも「おうちで簡単体操」のテレビ紹介を予定しております。ぜひそちらもご覧ください。

## ケアマネ試験勉強会

令和2年度の介護支援専門員実務研修受講試験が10月11日(日)に実施されます。

赤碕福祉会では、資格取得支援対策として希望職員を対象に資格所持者が講師役となり勉強会を行っています。また資格取得に掛かる費用の助成も行っています。



あかさき介護支援センター  
課長(主任介護支援専門員)  
岡本 奈々

独学で資格を取得する方もおられますが、制度は年々複雑化し、試験の問題も難化しています。勉強会に参加して仲間と意見交換をしながら、課題の克服や自分に合った勉強方法を見つけてほしいと思います。

資格を取ることで視野を広げたり色々な人と関わったりというメリットもありますが、勉強会を主催する立場としてスキルアップに“挑戦”をしてほしいと思っています。試験の結果は人それぞれですが“挑戦”をしたことがその人にとって必ず今後のプラス材料になるものだと思っています。

私は勉強会に参加して試験に合格することができました。勉強会に参加することで周りからのプレッシャーを感じ、「早く合格してしまいたい」という気持ちを上手くモチベーションにすることができました。こうした勉強会に参加することが自分には合っていました。

資格を取ることで仕事の幅も広がりました。長く働くことや自分の選択肢を増やすことにもなるので、今回は部下の“挑戦”を応援しています。



きらりデイサービス  
センター長  
高塚 要一郎

## 令和元年度 決算報告

事業活動計算書 平成31年4月1日～令和2年3月31日 (単位千円)

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動費用	650,575	事業活動収益	673,017
事業活動外費用	2,359	事業活動外収益	2,722
特別費用	600	特別収益	775
当期活動増減差額	22,980		
合計	676,514	合計	676,514

貸借対照表 令和2年3月31日現在 (単位千円)

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金・預金	608,756	流動負債	36,049
その他の流動資産	99,870	固定負債	3,973
流動資産合計	708,626	負債合計	40,022
基本財産	683,209	基本金	105,790
その他の固定資産	357,159	国庫補助金等特別積立金	83,231
		その他の積立金	241,000
		次期繰越活動収支差額	1,278,951
		(内、当期活動収支差額)	22,980
固定資産合計	1,040,368	純資産合計	1,708,972
資産合計	1,748,994	負債純資産合計	1,748,994

## 感染予防の取組み



新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況であり、ご利用者・地域の皆様におかれましては大変ご不便をおかけしております。赤碕福祉会では、感染予防対策として以下の取組みを行っております。

- ご利用者に関すること
  - ・デイサービスの迎え時の検温 ・混雑時を避けた定期受診
  - ・自然を活かし人混みを避けた外出 ・少人数でのレクリエーションや行事の実施
  - ・家族面会の制限(特定のご家族一人) ・WebアプリZoom(ズーム)を用いての面会
- 法人職員に関すること
  - ・出勤前に加えて午後の検温 ・業務内でのマスクの着用(熱中症対策にも配慮)
  - ・各種会議の開催時期や参加人数の見直し ・WebアプリZoomを用いての会議の実施
  - ・県内外のイベント等参加自粛
  - ・県外への外出自粛(やむを得ない場合はその後一定期間自宅待機)
  - ・休憩時に密集状態や向かい合わせにならないようソーシャルディスタンスを確保
- 施設的环境に関すること
  - ・外部業者や薬局等の来訪者の訪問時間と検温の記録 ・1時間ごとの5分間の換気の実施
  - ・手すり、電話機等よく触れる場所の1日3回の消毒
  - ・消毒液やマスク等衛生用品の3ヶ月分の備蓄の確保
  - ・一部外部業者やボランティア(施設外は可)、実習生の受入中止

今後も引き続き法人運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## Zoomを使ったオンライン面会をご利用頂けます

～遠方のご家族様オススメです！～

赤碕福祉会では、Web アプリ Zoom（ズーム）を使ったオンライン面会を実施しております。（要予約）

スマートフォン・タブレットや通信環境を用意できないご家族の為に、百寿苑面会室にてタブレットをご用意いたします。

また、オンライン面会は感染症の流行状況に関わらず行っております。遠方にお住まいで普段からご来苑が難しいご家族にはこの機会に是非ご利用くださいますようお願い申し上げます。利用方法等ご不明な点がございましたらお問合せ下さい。



## オンライン面会のイメージ図

百寿苑 特養・グループホーム



今のところ、たくさんのご利用を頂いているというわけではありませんが、ご利用頂いたご家族、入居者の方には「鮮明に見えて良かった」とのお声を頂いております。

また、特に県外などの遠方にお住まいのご家族からは「会えて良かった」とのお声がありました。今回のような外出自粛の時期に限らず、遠方のご家族には是非今後もご利用頂ければと思います。

※「窓越し面会」も引き続き行っております。



## 配食サービス「食」を通じた健康づくり

6月18日の献立  
枝豆ごはん・冷奴梅だれかけ・茄の味噌煮  
ゆで鶏とキャベツのポテトサラダ

栄養成分

エネルギー	516 kcal
たんぱく質	20.3 g
脂質	16.9 g
炭水化物	67.2 g
食塩相当量	2.8 g

爽やかに盛り付けました！



## 月に一度の検討会



試食を行いよりおいしさを追求します



配食サービスでは「おいしさ」にこだわったお弁当(夕食)をご自宅(旧赤碕町内)までお届けします！配達には経験や知識等を有した職員が行い、「こんにちは！」の声掛けとともに必ず安否確認をしています。また食事内容・配食以外でもご利用者の生活のお役に立てることがないかと検討会を行っています。複数のサービスを展開する「百寿苑だからこそできること」で住み慣れた地域での暮らしに貢献します。

## 防災訓練

5月20日(水)22日(金)各事業所において防災訓練を実施しました。日頃からの訓練の積み重ねによりスムーズな誘導が出来ました。今回の結果を振り返りながら、今後ご利用者の生活の場を守っていくという自覚を持ちながらサービス向上に努めて参ります。

